非核・いしかわ

2017年3月20日　月刊第224号　発行／非核の政府を求める石川の会

事務局／石川民医連労働組合気付
〒920-0848 金沢市京町28-8　TEL076-251-0014　Fax 076-251-3930
郵便振替口座 00760-0-15689　会報込年会費3000円

非核五項目
① 全人類共通の課題として核戦争防止、核兵器廃絶の実現を求める
② 国是とされる非核三原則（つくらず、もたず、もちこませず）を厳守する
③ 日本の核戦場化へのすべての措置を阻止する
④ 国家補償による被爆者援護法を制定する
⑤ 原水爆禁止世界大会のこれまでの合意にもとづいて国際連帯を強化する

1面　歴史と対話し、未来を見つめる　林田光弘
3面　3・1ビキニデーに参加して　内藤晴一郎
4面　伝えきれない沖縄　平和への想い　三上智恵
5面　「怒る富士」金沢公演を終えて　券田和子
6面　アラビア語が公用語の各国大使館に「はだしのゲン」を寄贈
6面　<リレーエッセー>東日本大震災から6年を経て　江守道子
7面　<独標より>白い花たち　土井和子
8面　シリーズ 石川の地域点描　中西　優
絵手紙コーナー　竹味恭子
号外　反核医師の会が外務省への要請・報告

【講演要旨】

歴史と対話し、未来を見つめる

被爆三世・二四歳　林田光弘さんに聴く

「ヒバクシャ国際署名」リーダーの林田光弘さん

中学三年から署名運動に

一九九二年に長崎市浦上で生まれた被爆三世、二四歳の私の人生の転換点からお話しします。

長崎の小中学校では、八月九日は全校登校日です。被爆者の話しを聞く、被災地をフィードバックする、壁新聞をつくる等、一年を通じて原爆について勉強しています。日常的に原爆のこと、被爆者のことを考えるのが当たり前になっています。

長崎の高校生一万人署名の世話人をされていた小学校の担任を介して、私は中学三年からこの運動に参加しました。子どもにとって「社会」は学校か家でしたが、高校生一万署名に参加したことで「社会」が大きく広がりました。とくに県外の高校生との交流により、他府県の高校生が原爆について殆ど知らないことが分かり、長崎生まれの僕たちが原爆や放射線被害につき、キチンと伝えていく責任を感じました。

「核抑止」は「核の槍」

その頃は北朝鮮が核実験を度々行っており、「核抑止論」がはやった時です。他府県の高校生たちに「核抑止論」について十分に反論できなかった悔しさもあり、その後核兵器について一生懸命勉強するようになりました。

「核抑止論」は、「核の傘」ではなく「核の槍」であり、いざという時、核兵器を使用するということが前提になっています。

私は高校生平和大使として二〇〇九年にスイス・ジュネーブを訪問、二〇一〇年に国連・NPT再検討会議で国際交流の機会があり、海外に友人ができたことも大きな転換点です。

花島風月

劇団文化座『旅立つ家族』の公演チラシを手にしている。

▼李仲燮（イ・ジュンソプ）は日本による朝鮮併合の時代に日本で美術を学び、日本人女性と知り合い結婚。日本が降伏すると朝鮮半島は南北に分割占領される。深い愛情と家族愛を持ちながら家族は済州と日本に・・・▼二〇〇八年九月、私たちは中部国際空港から済州空港へ。済州の歴史と自然、文化を学ぶ旅である▼済州4・3研究所の姜南圭（カン・ナムリュウ）さんは、二日間汗を拭きながら、「済州島は風光明美な島ですが、解放前の日本軍の遺跡と解放後の4・3事件で島民が苦しめられた悲痛な跡地の両方を持つ島なのです」と案内して下さった▼事件の発端は朝鮮が日本の支配から脱した後、米軍とソ連軍が分割統治。一方で統一朝鮮建国準備委員会ができ済州にも支部ができた。米軍政下の一九四八年、南（韓国）だけの選挙をしようとした政府に「民族は一つ、南北一体の選挙を」を掲げ平和的な運動に警察と軍隊が発砲し三万人が命を奪われた。更に焦土化作戦等で約八万人の島民が白色テロにより虐殺された▼悲惨な時代を生きた家族のドラマ。期待している。（平）

核の被害、特に放射線被害は日本国内ではよく知られていますが、海外では被爆者の結婚差別や就職差別などについて全然知られていません。このような社会的被害を含めて放射線の恐ろしさが伝わっていないことを痛感し、核の問題をしっかり学ぼうと二〇一一年、明治学院大学に入学しました。

二〇一一年三月一一日、東北大震災・福島原発事故が発生し、僕たちの世代は「ポスト3・11」と云われています。

NPTの三本柱の一つが「核の平和利用」であり、原発容認の世論が大勢を占めていましたが、福島原発の過酷事故以降は原発について熱心に学びました。

二〇一二年四月から脱原発を求める首相官邸前の抗議行動を始め、今も毎週続けられています。

講演終了後、近江町市場前で「ヒバクシャ国際署名」の街頭宣伝をしました

原発問題を東北だけの問題にするのはおかしい、五四基もの原発を地方に押し付けたみんなが当事者である。僕たちは社会運動に関わるとき、①問題を主体化すること、②思考停止しないこと、③自律すること、④クールであること、を大事にしました。

二〇一三年に特定秘密保護法の強引な進め方に抗議して特定秘密保護法に反対する学生有志の会（SASPL）をつくり、憲法や民主主義についてキチンと考えるようになりました。

〝わくわく感〟のある社会運動

これまでの社会運動は動機（WHY）があり、即、行動（ACTION）があった。しかし他者に何かを伝えるには戦略（HOW）が必要です。受け手の人たちのことを考えて、ワンフレーズで伝え、見せ方にこだわる戦略を重視しました。楽しい時間を削って社会運動をやるので、僕らはそのことを遊び場にしようという発想です。このような〝わくわく感〟のある運動が僕らの原動力になっています。

二〇一五年に安保法制を阻止するため、自由と民主主義のための学生緊急行動（SEALDs）を結成しました。プラカードに英語が多かったのは海外のメディアの報道で伝わりやすいからです。SEALDsでおもしろかったのは、リーダーはいなくてみんなで役割を決めていたことです。一人ひとりの役割があるから参加し続けることができました。これはすべての社会運動に通じると思います。

二〇一六年の参議院選挙では、SEALDsも参加した市民連合の要請もあり野党共闘が実現できました。石川県でも市民連合がつくられ、野党共闘が実現したことは今後の国政選挙だけでなく、いろんな社会運動にも活かしていけると思います。

問題を可視化すること

私は中学三年から平和大使として社会運動に参加してきて、問題が可視化されると問題の重要性が広がることを実感しています。

ひとりの女性の「保育園落ちた！日本死ね！」のブログが待機児童の問題や保育士の待遇問題を大きくクローズアップしました。困った問題があれば当事者が声を上げて変えていくしかない。それが小さな声であっても誰かが受け止めて拡散して可視化に繋がるかも知れない。そのとき共感する人がいなくても当事者の発言、声に励まされる人はきっといます。

これまで被爆者支援の活動や特定秘密保護法、安全保障関連法、参議院選挙のときなど、どの行動をするときも僕が大事にしているのは「人間の尊厳」を取り戻すことです。

「核抑止」論者は核兵器を落として殺される人たちの顔を思い浮かべているのか。安保法制施行で南スーダンに派遣された自衛隊員が殺害するかも知れない少年Aには必ず家族がいるはず。被爆者一人ひとりに物語があります。一人の被爆者の話を聞いただけで原爆のことを知っているとは言えないと思います。社会運動では「人間の尊厳」「個人の尊厳」を取り戻すことを大事にしていきたいと思います。

「ヒバクシャ国際署名」

戦後、被爆七〇年を経て、広島・長崎の被爆者が中心になって自分たちで署名用紙をつくり、全世界に呼びかけた「ヒバクシャ国際署名」は、被団協、生協連、原水禁、原水協など広範な市民団体が一緒に取り組むことになりました。

昨年末の国連総会で「核兵器禁止条約」の制定交渉を開始する決議が賛成多数で採択され、今年三月下旬と六月一五日～七月七日まで国連本部で核兵器禁止条約の交渉会議が開かれま

す。今後、同条約ができれば国際法上、核兵器の使用は禁止されます。核兵器の使用が違法化されれば、大きな歴史の転換点となります。「ヒバクシャ国際署名」を大きく成功させましょう。

（文責　非核・いしかわ編集部）

◎三月四日、金沢市近江町・市民交流プラザで開かれた平和サークル「むぎわらぼうし」例会の「ヒバクシャ国際署名」キャンペーン・リーダー・林田光弘さんの講演要旨です。例会終了後、近江町市場前で「ヒバクシャ国際署名」の街頭宣伝も行われました。

3・1ビキニデーに参加して

内藤晴一郎

3・1ビキニデー日本原水協全国集会の基調報告で安井正和事務局長は、「今年の全国集会は、ビキニデーの歴史の中でも、特別に重要な意義を持っている。ビキニ水爆事件を契機に誕生した原水爆禁止運動が求め続けてきた核兵器禁止条約が国際政治の大きな焦点になり、条約交渉が開始される画期的な情勢の中で迎えている。」と話し、三月、六～七月の交渉会議に向けた行動提起をされました。

第一に、日本政府に対して交渉会議に参加し核兵器禁止・廃絶を提起し、条約実現に努力するよう求める。第二に、「ヒバクシャ国際署名」の国民的な共同運動に全力を挙げる。第三に、被爆の実相を普及する。被爆者の証言を聞く会、原爆展、被爆写真を寄贈する運動をしようと呼びかけました。

米国のガーソンさん、ロンゲラップ代表のアンジャインさんの発言に続き、ヤンバル統一連の吉田務さんは沖縄のたたかいを報告。勝利の展望を①現場でのたたかいを非暴力で強める。②埋め立て許可が三月で切れる。知事権限で許可しない。③設計の変更は、名護市長の権限で認めない。知事選、名護市長選にオール沖縄で勝ち取ることと報告。フィナーレは、青森、長崎、長野、香川、新婦人岐阜が次々登壇し、会場とともに盛り上がりました。参加者は八〇〇人でした。

「原水爆の犠牲者は私を最後にしてほしい」の言葉を残した久保山愛吉氏の墓前祭にて

分科会は「沖縄のたたかいを全国へ憲法を生かし、非核平和の日本を」に運営委員として参加。各地の基地での取り組みがたくさん報告されました。

三月一日は、焼津駅から久保山愛吉氏のお墓のある弘徳寺まで一〇〇〇人が墓参行進をしました。到着後、境内では日本宗平協による久保山愛吉氏墓前祭が行われました。

3・1ビキニデー集会はうたごえ協議会の合唱で開会。主催者報告は新潟大学名誉教授の赤井純治さんが行いました。ビキニ水爆実験で何が起こったのかを振り返り説明。最後にアパルトヘイト撤廃で闘ったマンデラさんの言葉〝It always seems impossible until it's done〟成し遂げられるまでは（until it's done）不可能にみえる（always seems impossible）。「不可能と見えていたアパルトヘイトも成し遂げられた。成し遂げられた後には道理にかなったことは至極当然だったと分かる。核兵器廃絶も全く同じことです」と話されたことが印象的でした。

第二部はオープニングの女性コーラス「カンティアーモ常葉」の美しいハーモニーに聞き惚れました。

特別企画ではガーソンさんがトランプ大統領の危険性を語り、どう運動を進めていくかを話されました。

ビキニ被災事件を語るではエニウエトク環礁からの代表が実情を話されました。肉親をはじめ多くの人が亡くなったこと。米国からの三カ月に一回来る缶詰等の食糧は一カ月で無くなり、汚染の多い魚やカニを食べること。雨が降らず水不足で汚染された井戸水を飲む等々。

私達が知らなかったことがたくさんありました。高知からはビキニ被災調査の報告。各地から「ヒバクシャ国際署名」の取り組みが次々と報告されました。参加者は一二〇〇人でした。

（原水爆禁止石川県協議会事務局長）

４・２８「屈辱の日」

沖縄連帯「講演会」ご案内

「　沖縄は訴える　」

- 講師　仲里利信 衆議院議員（無所属　沖縄４区）
- 日時　４月２８日（金）午後６時半
- 会場　ＩＴビジネスプラザ武蔵 ６階
- 主催　安保破棄石川県実行委員会　石川県平和委員会

□講演要旨□

伝えきれない沖縄　平和への想い

ジャーナリスト　映画監督　三上智恵

最新作「風かたか」につき、熱く語った三上智恵さん

今年三月二五日から全国公開されるドキュメンタリー映画「標的の島風（かじ）かたか」（以下、「風かたか」）についてお話します。

二〇一三年に「標的の村」が公開されたとき、石川県で真っ先に上映運動が取り組まれ、カンパも沢山集めていただいた。私は皆さんに背中を押されて、二作目「戦場ぬ止み」、三作目「風かたか」の制作につなげることができました。

米軍の軍事訓練のために東村・高江へのヘリパット建設問題を描いたのが「標的の村」です。「戦場ぬ止み」は辺野古の新基地建設に焦点を当てた映画です。

今度の「風かたか」では、ミサイル基地建設と自衛隊配備が計画されている石垣島と宮古島をメインに取り上げました。

「風かたか」とは、沖縄の言葉で風よけ、防波堤の意味です。この言葉は沖縄の有名な歌手・古謝美佐子さんの代表曲「童神」にあります。

昨年四月、二〇歳の島袋里奈さんが米軍属の男に暴行され、殺された事件がありました。六月一日に抗議の県民大会が開かれたとき、最初に古謝美佐子さんが歌ったのが「童神」です。

「童神」歌詞3

雨風（あみかじ）ぬ吹ちん
渡り此ぬ浮世（うちゆ）
風（かじ）かたかなとてい
産子（なしぐわ）花咲かそ

県民大会では名護市の稲嶺進市長も「私たちはまた命を救う〝風かたか〟になれなかった」と挨拶されたとき、多くの女性たちが号泣しました。

大浦湾は深さが四〇メートルあり、基地がつくられると軍艦が出入りできます。弾薬庫もあり、滑走路が二本作られる辺野古の新基地は、強襲用に使うオスプレイが一〇〇機配備でき、総合出撃基地になります。

もう一つ怖いのは、自衛隊が辺野古基地を使って出撃することです。戦争相手国が出撃基地を攻撃するのはあたり前です。基地は訓練する所で、抑止力になると思っている人が多い。基地の被害には空からの落下物、レイプ事件、交通事故、枯葉剤、日常の騒音公害など多数あるが、しかし戦争になると「標的」になるのが基地です。

戦争になると日米両政府が使う出撃基地が辺野古につくる新基地の正体です。だからこの基地がつくられると沖縄が戦場になる、日本が戦場になるということです。

中国に近い石垣島、宮古島、与那国島に自衛隊を配備するのは辺野古、高江と一体であり、辺野古の新基地に配備されるオスプレイの訓練場所が北部訓練場の高江周辺になります。

オスプレイは年間一二〇〇回も訓練する計画があり、「標的の村」に登場したゲンさん親子はこの三月に高江を出ていくことになってしまいました。高江のヘリパットは昨年一二月にほぼ完成したが、辺野古の新基地を阻止することができれば高江でのオスプレイ訓練はできなくなります。

映画のタイトル「風かたか」には、日本の軍事要塞として防人の役割を押し付けられていることを次の世代に渡したくない、「風かたか」になろうと闘っている沖縄の人たちの想いをこめています。

これにはもう一つの意味があります。日本はまた沖縄を「風かたか」にして何をやろうとしているか、です。

第二次大戦では日本が軍備配置した南西諸島が逆に米軍の出撃基地となり、日本が空爆された歴史があります。この歴史の検証なしにまたも沖縄に防波堤をつくろうとしていることを「風かたか」で描いています。

ベトナム戦争やイラク戦争では米軍が沖縄で訓練して出撃していった事実があります。米軍に空爆されたフアルージャの人たちは、沖縄を日本と思っていない。米軍のキャンプシュワブの一地域と思っている。集団的自衛権の行使を容認した日本の自衛隊は今後、米軍の二軍の役割を果たしていく運命にあります。

今度の映画は宮古島と石垣島がメインです。自衛隊の配備問題が日本の

運命を変えてしまうほど恐ろしいことを取り上げました。

与那国島に昨年三月、自衛隊基地がつくられました。台湾が見えるところに自衛隊基地をつくるのは〝台湾有事〟を想定しているからです。

二〇一五年五月に宮古島と石垣島に自衛隊のミサイル部隊を置くことが発表されました。これは日本を守るための配置ではなく、中国が太平洋に進出することを阻む米国の「エアーシーバトル構想」の一環です。

中国は外洋航路に限りがある国なので、米国は日本列島から台湾につながる第一列島線から中国を出さないことを狙っています。対中国を想定して日本を防波堤とする基地を置いているのです。

米国には「海上制限戦争」という戦略があります。米中の軍事衝突が起きた場合、戦場は中国本土ではなく、日本列島から台湾までの島々（第一列島線）に引き付けて海上での制限戦争を行うというものです。

宮古島と沖縄本島の間隔は三〇〇kmあり、この海峡を閉鎖するためミサイルを配備しようとしています。

実際に中国が沖縄の基地を攻撃してきたら米軍はハワイまで撤退することが〇六年に日米合意されています。このとき中国の初期攻撃に対応するのは自衛隊と韓国軍です。

この「海上制限戦争」で一番ハードルが高いのは、米国が攻撃する前に同盟国が先に攻撃しないと、この構想が首尾よくいかないことです。その先兵が安倍政権による集団的自衛権の行使容認と安保法制の強行です。

米軍の二軍である日本と韓国は運命共同体です。「海上制限戦争」に巻き込まれないためには、中国と韓国、日本が大いに仲良くする以外にない。日本が生き残る道はアジア共同体構想の実現なのです。

◎二月二八日、石川県教育会館ホールで開かれた石川県憲法を守る会総会記念講演の要旨です。

（文責　非核・いしかわ編集部）

◎映画「標的の島　風かたか」は、六月一七日（土）～六月二八日（金）、シネモンド（金沢市香林坊）で上映予定です。

非核 平和のひろば

「怒る富士」金沢公演を終えて

券田和子

仕事の帰り道、時々通る小さな八百屋、いつも何となく通り過ぎるのにその日はおもわず車を止めた。八百屋なのに店先に白い水仙の花が何鉢か売られているのに気づき、一七〇円の一鉢を買って帰った。「怒る富士」の舞台で観た舞台いっぱいの〝こぶしの花〟がその小さな水仙に気づかせてくれたのだろう。

芝居には不思議な力がある。何十年も前に観た場面が浮かび目頭が突然熱くなったり、役者の表情や迫力で目が覚めたりすることがある。

一〇代で芝居の舞台に出あい確実に私は影響を受けてきた。今回の前進座「怒る富士」では二幕五場、幕府評定所での伊奈半左衛門を演じる嵐圭史に心が奪われ、昼、夜と二度観させて頂いた。主義主張からではなく死を覚悟しての人間の正義に立ち向かう姿が圧巻だった。白装束の切腹場面はまさに〝死に方は生き方〟とどこかに書かれていたことばを思い出させた。ラストの大輪の舞台いっぱいの〝こぶしの花〟は権力への怒り、理不尽に抗してなお全てを包み込む包容力で温かな気持ちにしてくれた。人間の力をも信じさせてくれた。

公演の翌日、家に届いた嵐圭史さんからのお手紙で、圭史さん御自身この芝居が好きだということ、そして「この芝居が劇団員嵐圭史としての最後の舞台になる」ことを知り、胸が一杯になった。

年金は下がり、若者は忙しく、生活は苦しくなるばかりの昨今だ。芝居どころではない風潮の中、たくさんの方が足を運び、公演が終わると「良かったよ！」と何人もの方が声をかけてきてくれた。公演の日から二週間も過ぎているのに、今日も近くに来たからと私の職場に「誘ってくれてありがとう、いいお芝居だった！」と声を届けてくれる友人もいる。公演当日ぎりぎりまで電話とメールでお誘いしたかいがあった。劇団を離れる嵐圭史さんだが、まだまだ活躍して私たちを感動させてくれることを心から願う。丁寧で誠実、凛としたみごとなアンサンブルを前進座の皆様ありがとうございました。

（金沢で前進座「怒る富士を観る会」実行委員）

はだしのゲンをひろめる会
アラビア語が公用語の各国大使館に『はだしのゲン』を寄贈

はだしのゲンをひろめる会は、トランプ米国大統領がイスラム圏七か国からの入国を禁止した大統領令に署名したことへの抗議とアラブ諸国へのエールのため、アラビア語を公用語にしている国の大使館・領事館に『はだしのゲン』アラビア語版第一巻を寄贈しました。寄贈先はアルジェリア、イエメン、イスラエル等の各国大使館二〇冊、領事館三冊、計二三冊です。

各国大使館への送り状を紹介します。

（各国大使館への送り状）

私たちは広島での原爆をテーマとしたマンガ『はだしのゲン』を、国内外の人たちに紹介する活動をしています。初めてのアラビア語版の第一巻をどうぞお受け取りください。

作者の故中沢啓治さんは六歳の時、広島で被爆し、その後マンガ家として生計を立てていましたが、長い間原爆から目を背けていました。しかし母親の死を機に原爆への怒りが爆発、それをエネルギーとして三〇年の時を経て自らが広島で見聞きしたことを中心にこの作品を書きはじめました。本書は全一〇巻からなります。

主人公ゲンは日本の子供たちにとって核兵器の恐ろしさと平和の尊さを伝える重要なシンボルです。以来、『はだしのゲン』は二四言語に訳されています。

『ゲン』のアラビア語版はカイロ大学のエルシリビーニ・マーヘル教授の翻訳で二〇一五年にエジプトで第一巻が出版されました。

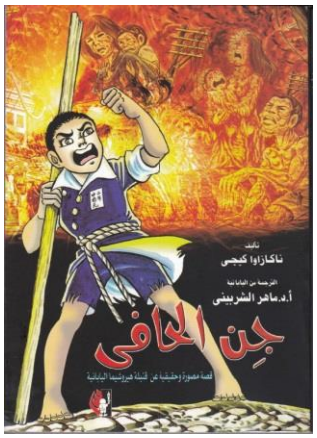
アラビア語を公用語とされている各国の大使館の皆様方に、本書の第一巻を寄贈することをうれしく思います。どうぞ同封の本をお受け取りください。

世界の若者が『はだしのゲン』を読んで、核戦争の恐ろしさと危険性について真剣に考える切っ掛けになることを切に願っています。

二〇一七年二月二二日

ＮＰＯはだしのゲンをひろめる会

理事長　浅妻南海江



アラビア語版第１巻

非核石川の会リレーエッセー

東日本大震災から六年を経て今思うこと

江守道子

無謀な戦争を始めた結果、広島と長崎に原爆を落とされ敗戦となった日本。想像を絶する苦しみと歴史的教訓から、平和をこころから希求して制定されたのが、現在の日本国憲法、いわゆる「平和憲法」です。

戦後復興のため全国民が一丸となって努力した結果、世界有数の経済国家になりましたが、経済至上主義、効率至上主義の結果、いらない無駄なもの、危険なものを、短期的な利益追求のため行ってきました。その結果、公共施設や原発が数多く作られました。維持管理するのに莫大な費用がかかるばかりでなく、原発に至っては安全、安心で安いと言われ続けてきましたが、福島の事故で完全に否定されました。

チェルノブイリ原発事故の数年後、ソ連から日本にやってきた内科の女医さんと出会いました。彼女は、事故後、チェルノブイリを中心に、深刻な環境汚染と共に、子供の甲状腺がんを始め、成人のがんの多発を訴えていました。当時のソビエト政府は「原発は安全、事故は絶対にない。」と公言していたが、事故は起きた。日本でも、原発事故は、必ず起こると想定し今後の対策をしてほしいと強く訴えていたのが忘れられません。私自身も、当時は「まさか、本当に原発事故が起こるのだろうか？」と半信半疑でした。

その後、彼女の予言通り福島の原発事故が起きました。広島、長崎は戦争（人為的）による放射能汚染ですが、福島も地震・津波は自然災害ですが、それに続く原発事故は明らかに人災です。

あれから六年経った今なお、多くの被災者が住み慣れた土地を離れ過酷な日々を過ごしています。

震災直後の当時の民主党政府は、「原発は将来的にはなくする方向にもっていく」としていましたが、自民党に政権が変わるやいなや「原発を積極的にすすめていく。また、その原発を輸出する」という。

私たちは、福島から一体何を学んだのでしょうか？広島や長崎の原爆投下から一体何を学んだのでしょうか？

二度と戦争をしないと決めたはずでしたが、安倍首相は憲法の解釈を変え、戦争参加も可能にしました。

かつて、我が家にホームステイしていたカナダの女子留学生が修学旅行で訪れた広島から帰った後、「過去から学ばない人、国は、必ずまた同じ過ちを繰り返す」と言う言葉を残し帰国。この言葉は、今なお私の心に深く刻まれ、改めて平和のために自分ができることを実践していく決意となりました。

詩人会議かなざわ「独標」より

白い花たち

土井和子

葉の間を風が流れ
揺れる花たち
変わりゆく雲にまぎれ
花びらが空に舞い
気まぐれな突風が
雲を蹴散らした

政務活動費を生活費として
使い果たす慣例が暴かれた
私の町の議員たち
先輩たちに教えられた手口に
罪悪感も躊躇もなかった
辞職と謝罪会見が続く
政活費は使い切る金だと言い
飲み食いに消え
領収書を細工したと
言い分は聞くに堪えない
働きづめの庶民が
ようやく得た賃金からの
血の滲むような税金を
湯水のように使い
私腹を肥やしたことに
反省はあるのだろうか
私の町から噴き出した
議員たちの堕落は津々浦々へ
波及しようとしている

冷たい風が吹きすさぶ中
ときには頬に触れたりして
優しさに溢れたシュウメイギクの
白い花たちを連れて秋は
震えるような厳しい
季節へとまっすぐに走る

《編集室より》

◎本号は外務省への要請行動という重要な取り組みの報告をお伝えするため、通常の八ページ建てに加えて、色用紙による号外を付加することにしました。もとより私たちの運動は、非核の政府を求めることにありますが、〝核兵器禁止条約の制定〟について、この三月以降、国連においていよいよ重要な交渉が始まります。これは人類史にとっても特別なものです。読者は是非その推移を注視していただきたいと思います。（な）

◎昨年一二月三日、東京で開かれた「非核の政府を求める会結成三〇周年記念シンポジウム」の記録集が発行されました。午前中の鼎談では被爆三世・林田光弘くんの発言、午後のシンポジウムでは石川県における非核自治体運動の多彩な活動報告などぜひ会員・読者の皆さんにお勧めします。

平和首長会議に一〇〇％の自治体が加盟した今後の課題は、①各自治体の非核平和施策の拡充、②非核平和に関する自治体交流会の開催、③平和首長会議も賛同・協力する「ヒバクシャ国際署名」を自治体と共に進めることです。このため非核石川の会では、県内で最も早く平和都市宣言を採択、平和首長会議にも最初に加盟し、毎年夏に「平和都市宣言推進事業」として広島平和祈念式典に中学生を派遣している野々市市の粟貴章市長との懇談を近く行うことになりました。

粟市長と非核石川の会との懇談が、県内自治体の非核平和行政の推進に役立つことを期待します。（か）

上記の「シンポジウム記録集」（B5判123頁、定価1,000円）には非核石川の会の活動報告も全文掲載されています。購入希望の方は本会事務局までご連絡ください。

シリーズ 石川の地域点描 ⑧

フォトグラファー　中西　優

見ごろを迎えた梅＝金沢市・卯辰山公園

山あいの方を除いてほとんど雪が融け、春の足音が聞こえてきました。色が乏しかった冬の風景から一転、少しづつ花が咲き始めてカメラ好きにとっても楽しみな季節がやってきます。

ただやはりこの時期は気温の変化も激しく、体調を崩しやすいこともありますので体の方には十分気をつけながら心地よい季節を満喫したいものですね。

絵手紙コーナー

金沢医療生協絵手紙班　竹味　恭子

サザンカ＝金沢市・大乗寺丘陵公園

≪非核平和・掲示版≫

月	日	曜	時	内容	場所
3	26	日	14:00	映画「いしゃ先生」上映会	金沢市三社町・石川県女性センター・ホール
	27日(月)～31日(金)			国連・核兵器禁止条約締結交渉会議	ニューヨーク市・国連本部
	29	水	12:50	立憲主義と民主主義を取り戻そう！昼デモ	金沢市・いしかわ四高記念公園／教育会館前口
4	6	木	12:30	核兵器廃絶署名6・9行動	金沢武蔵町・Mza前
	9	日	日帰り	平和の旅 「富山の史跡探訪」 米騒動、横浜事件、富山空襲、不二越強制連行、イタイイタイ病資料館など	お問い合わせ先・090－2121－0741
	12	水	12:50	立憲主義と民主主義を取り戻そう！昼デモ	金沢市・いしかわ四高記念公園／教育会館前口
	15	土	12:00	沖縄に連帯を・署名と宣伝行動	金沢市武蔵町・Mza前
	22	土	13:30	いのちとくらしを守る市民集会 1部　講演 西郷南海子さん「だれの子どももころさせない」 2部　西郷さんとトーク「子どもたちにどんな未来を手渡すのか」	金沢市近江町・市民交流プラザ4階
	26	水	12:50	立憲主義と民主主義を取り戻そう！昼デモ	金沢市・いしかわ四高記念公園／教育会館前口
	28	金	18:30	沖縄に連帯！講演会・オール沖縄衆議院議員 仲里利信さん	金沢市武蔵町・ITビジネスプラザ武蔵6階
5	3	水・休日	14:00	平和憲法施行70年記念県民集会「改憲の危険性と9条の生かし方　進む軍拡の既成事実にどう対処するか」・山田朗氏	金沢市石引4丁目・本多の森ホール
	9	火	12:30	核兵器廃絶署名6・9行動	金沢市武蔵町・Mza前
	14	日	10:00	はだしのゲンをひろめる会総会	金沢市近江町・市民交流プラザ4階
	20	土	13:30	石川県平和委員会総会	金沢市近江町・市民交流プラザ4階
	21	日	12:00	核戦争を防止する石川医師の会総会	金沢市尾張町2丁目・保険医協会事務所
6	9	金	12:30	核兵器廃絶署名6・9行動	金沢市武蔵町・Mza前
	11日(日)～16日(金)			原水爆禁止国民平和大行進・能登コース	輪島市～内灘町
	15日(木)～7月7日			国連・核兵器禁止条約締結交渉会議	ニューヨーク市・国連本部
	17日(土)～24日(土)			原水爆禁止国民平和大行進・富山～広島コース	津幡町～加賀市

＊ 祝日は休日とします　＊ 毎週金曜日18：30どいね原発アピール行動 金沢駅兼六園口　＊ 毎月15日石川県沖縄連帯デー